

# ちの

# 北九州市議会だより

第56号  
2026.3.1

## 令和7年12月定例会



### 総務環境委員会と 経済建設委員会の 行政視察の様子



#### もくじ

- ▶ 行政視察報告 ..... 2
- ▶ 委員会審査 ..... 5
- ▶ 一般質問通告一覧 ..... 9
- ▶ 議決結果 ..... 11
- ▶ 議決賛否 ..... 12

10月から11月にかけて各常任委員会では行政視察を実施しました。視察の報告は、2ページ～4ページに掲載しています。

# 令和7年度行政視察報告

市議会では市政の発展と向上のため、委員会ごとに視察目的を定め、先進的な他の自治体等を訪問して研修を受けています。ここでは、令和7年度の各委員会  
の行政視察について報告します。

## 総務環境委員会

11/11(火)～11/13(木)

委員長	梯 泰 弘
副委員長	樋 口 敏 之
委員	佐々木美智子
委員	長 田 近 夫
委員	望 月 克 治
委員	矢 島 正 恒

### 視察先

福岡県北九州市

### 視察内容

- ・スマラく区役所構想について
- ・デジタルポについて

人口減少や高齢化が進む中、限られた人員で行政サービスを維持しながら市民の負担をどう減らしていくかは、茅野市にとっても避けて通れない課題です。総務環境委員会では、こうした課題に対する具体的な工夫を確かめるため、北九州市を視察しました。

視察では、「書かない・待たない・

行かなくていい」を掲げたスマラく区役所構想に注目しました。申請書の簡素化や窓口予約、住民票などのコンビニ交付を組み合わせることで、市役所に足を運ばずに手続きを進められるよう工夫されています。市民の負担を減らすと同時に、職員の業務を整理し直す視点が特徴的でした。

また、業務改善の取組として紹介された「デジタルポ」では、デジタル技術を使って事務作業の効率化を検証し、日常業務にどう活かすかを考えています。印象に残ったのは、デジタル化を人員削減の手段とするのではなく、

職員が市民対応や相談に向き合う時間を確保するための手段として捉えている点です。

今回の視察を通じ、茅野市においても手続きの負担



を減らすことと、市民に寄り添う対応を両立させることは、決して対立するものではないと改めて感じました。申請や確認にかかる時間を減らし、その分を相談や説明に充てることで、市民と向き合う時間を増やすことができそうです。限られた職員数の中でも、仕事の進め方を工夫することで行政サービスの質を高めていく、その具体的な姿を思い描きながら、茅野市の市政運営に活かしていきたいと考えています。

### 視察先

福岡県福岡市

### 視察内容

- ・スマート行政サービスについて
- ・庁内DX推進体制について

行政手続きを「分かりやすく、迷わず、早く」行えるかどうかは、市民の暮らしやすさに直結します。総務環境委員会では、市民目線での行政サービスがどのような形にされているのかを確かめるため、福岡市を視察しました。

福岡市では、スマートフォンやLINEなど、市民が日常的に使っているツールを入口に、住民票の取得や各種申請をオンラインで行える仕組みが整えられています。情報の探しやすいことや手続きの流れにも工夫が重ねられており、「使えるかどうか」を基準にサービスが組み立てられている点が印象的でした。



一方で、デジタルに不慣れた市民への配慮も欠かしていません。公民館と区役所をビデオ通話でつながりモート窓口など、対面とデジタルを組み合わせた支援により、利便性を高めながら不安を残さない姿勢が示されています。

庁内では、DXを専門に担う体制のもと、業務の効率化を進めることで、職員が市民対応により多くの時間を割けるよう工夫されています。今回の視察から、行政サービスは「用意する側の都合」ではなく、「使う側の目線」で組み立て直すことで、分かりやすさも満足度も大きく変わることを実感しました。茅野市においても、市民が迷わず手続きを進められる環境を整え、一人ひとりが「市役所が身近になった」と感じられる姿を目指し、今後の取組につなげていきたいと考えています。

## 経済建設委員会

11/11(火)～11/13(木)

委員長	小尾一郎
副委員長	東城源和
委員	向山平美
委員	木村明巧
委員	竹内博文
委員	机博

### 視察先

#### 岐阜県美濃市

### ・美濃和紙ブランドの価値向上及び発信に関する事業、取組等について

美濃市は、濃尾平野の最北端に位置し、昭和29年に市制を施行した人口3万3千人余の市です。今回は、ユネスコ無形文化遺産の美濃和紙をブランド化している美濃市において地域ブランドの価値向上や発信に関する取組について視察しました。

同市では、ユネスコ登録を機に和紙の情報発信や技術継承者育成、産業・観光振興を強化すると共に、新ブランドを設立しイメージ向上に努めています。新ブランドでは、厳しい品質基準を設け、マークを作成し他との差別化を図っています。また、美濃和紙を用いたアート作品を国内外でPRする活動に取り組みと共に、後継者の発掘、

育成、研修の各制度や作業場の提供、用具や材料の確保等、市が幅広い支援を行っています。

さらに、他の生産地との連携強化や職人の技を見せる観光拠点整備、情報発信、販路拡大にも注力し、国重要伝統的建造物群保存地区「うだつの上がる町並み」を利用した美濃和紙とのコラボイベントも活発に行われ、昨今の観光客や宿泊客は増加傾向とのことでした。

茅野市においても、ブランディングに取り組む際に美濃市の「ブランド価値向上研究会」のような組織を設置し、戦略的な構想を提案することにより、ブランド化推進と地域活性化に取り組めるのではないかと思います。

### 視察先

#### 石川県羽咋市

### ・羽咋式自然栽培について

羽咋市は、能登半島の基部西側に位置し、昭和33年に市制を施行した人口1万9千人余の市です。以前から有機栽培などの環境保全に資する農業に取り組んでおり、美しい景観やローマ法



うだつの上がる町並み

王への献上米の産地、そしてトキの放鳥(令和8年予定)などから、令和7年7月にオーガニックビレッジ宣言し、独自の自然栽培に力を入れ、地域性をいかしたまちづくりを進めています。

羽咋式自然栽培は、農薬、化学肥料、除草剤等を使わず、地力によって作物を育てる農法です。羽咋市では、自然栽培を地方創生の最重要政策と位置付け、行政、JA、生産者が一丸となつて普及に取り組んでいます。具体的には、協働での実践塾の開講、就農者助成、販路拡大、加工品開発等の支援等、就農者が安心して自然栽培に取り組める環境が整備されています。

なお、自然栽培農家数や作付面積、実践塾の受講生も近年減少傾向にあり、視察当日はJAの担当者にも席巻を頂きましたが、就農希望者に対して「収量や収入が安定せず生活の糧とするのは難しい。」という説明もしているとのこと、自然栽培の難しさを感じました。

しかしながら、茅野市で現在取り組んでいる「蓼科野菜」のブラ



のと里山農業塾ほ場

ンド化では、この自然栽培の取組は、参考にできる部分が多くあるのではないかと思います。

### 視察先

#### 新潟県南魚沼市

### 視察内容

### ・南魚沼市観光戦略について

南魚沼市は、新潟県南部に位置し、平成16年に市制を施行した人口5万2千人余の市です。同市は、今年9月、「ゼッピン雪国宣言」を理念とした観光戦略を策定しました。今回はこの戦略について視察を行いました。

世界的にも稀な豪雪地帯に人が住む地域と育まれてきた文化、ブランド化されたコシヒカリをはじめとする食文化に加え、交通網の恩恵による地の利を生かしながら、この新たな戦略を市の総合計画の中に位置付け、特命副市長を迎える中、行政と事業者が一体となって観光地域づくりを進める体制を整えています。

また、ブランド構築に力を入れるために、食を通じた体験コンテンツを創出することで、モノからコトへ消費の転換を図り、雪国の食文化の魅力発信と共に、料理人と生産者の学習・交流機会の創出を図るなど、食を軸としたブランディングも併せて進めています。なお、この戦略は策定されたばかりであり、現時点で戦略の成果を問うことは早計ですが、施設整備、夏季の観

光関連消費の増加策、行政と事業者  
同士の意思疎通・共有が課題とされ  
ています。

茅野市でも「蓼科野菜」ブランド  
の取組が始まりましたが、ブランド  
化に当たっては、実施主体や費用負  
担、程度等を協議しておく必要があ  
り、PRすればブランド化できる時  
代ではないと感じました。

## 福祉教育委員会

10/1(水)～10/3(金)

委員長	木村かほり
副委員長	両角直樹
委員	野沢明夫
委員	伊藤勝
委員	両角実晃

すべての人が交流する福祉のま  
づくりについて、学校のあり方の参考  
重層的支援体制の事例研究等を目的  
に兵庫県神戸市、大阪府貝塚市、三  
重県伊賀市への視察を実施しました。

視察先

兵庫県神戸市

### 視察内容

#### ・しあわせの村

神戸市「しあわせの村」は、福祉  
と都市公園を融合した総合福祉ゾ  
ンであり、205haの広大な敷地に  
温泉・スポーツ・研修・宿泊・商業施

設と、高齢者・障害者の医療福祉施設が  
併設されている点が特徴です。市民福  
祉条例の理念に基づき、多世代・多様  
な市民が同じ空間で交流する「ごちゃ  
まぜ」の環境づくりが進められ、料金  
減免やバリアフリー整備、障害者雇用  
ボランティア活用などソフト面も充実  
しています。課題としては、利用者の  
地理的偏り、広大な施設ゆえの維持管  
理・修繕費の将来負担があります。

茅野市への応用としては、運動公  
園・諏訪中央病院・介護施設・商業施  
設が近接している点が強みであり、小  
規模でも「福祉施設×公共施設×交流  
機能」の融合を進める余地があると思  
えられます。高齢者・障害者と子ど  
も、若者が自然に交わる仕組みづく  
り、ボランティアや障害者就労の導入  
「ごちゃまぜ」の視点を取り入れるこ  
とで、すべての市民が活動しやすい都  
市公園・公共空間の形成につながら  
れると考えられます。

視察先

大阪府貝塚市

### 視察内容

#### ・二色学園について

貝塚市の二色学園は、小中とも1学  
年1学級となった地域で、住民の「地  
元の学校を残したい」という強い意向  
を背景に、小中一貫教育の実績を踏ま  
えて義務教育学校として開校しました。

小中の教員が同  
じ職員室で連携  
し、9年間を通  
じた系統的な学  
び、「持ち味学  
習」など個を尊  
重する教育、地  
域連携の探究活  
動が進められて  
います。縦割りの学習や一体感が児童の  
安心につながり、小規模校の強みを生か  
した教育が展開されています。また、市  
内では少人数特認校もあり、地域に合っ  
た学校づくりに取り組んでいます。



茅野市では小中一貫教育を掲げており、  
永明小中学校のような施設一体型の学校  
から義務教育学校への移行を検討する余  
地があります。特に中一ギャップの軽減、  
教員連携の強化、9年間の継続した学び  
といった利点は市内でも十分応用可能で  
す。一方、中山間地域を多く抱える茅野  
市では、地域の地理条件や通学手段の課  
題から、全市一律の義務教育学校化は現  
实的ではなく、小規模地域でのモデル校  
づくりなど、地域特性に応じた段階的再  
編が有効と考えられます。

視察先

三重県伊賀市

### 視察内容

#### ・重層的支援体制整備事業について

伊賀市は、長年の地域福祉計画の積み

上げを基盤に、重層的支援体制を全世  
代・全課題対応型で構築してきました。  
特に、小学校区ごとに配置された地域  
福祉コーディネーターと、39地区中38  
地区に設置された地域福祉ネットワー  
ク会議が、自治会・民生委員・企業・  
住民の連携による実効性ある地域支援  
を進めている点が大きな強みです。子  
どもの第三の居場所「いごっこの家」  
では、学習支援や生活支援を含む包括  
的な支援が行われていましたが、運営  
費や人材不足が大きな課題となってい  
ます。

茅野市においては地域包括ケアや社  
協の生活支援事業、地区コミュニティ  
との連携などの基盤は既に存在してい  
ます。今後の展開としては、地域福祉  
ネットワーク会議のような協議体の整  
備、相談支援包括化推進員のような調  
整役の配置が効果的だと考えられます。  
また、企業連携による支援拡充、民間  
の担い手不足に対応する仕組みづくり、  
子ども支援を社協事業と統合的に進め  
る体制整備が求められます。蓼科や別  
荘地など支援  
が届きにくい  
地域へのアウ  
トリーチ強化  
が、茅野市の  
重層的支援の  
核心になると  
考えられます。



# 令和7年12月定例会

茅野市議会令和7年12月定例会は、11月28日（金）から12月19日（金）までの会期で開催しました。



## 12月定例会のあらまし

12月定例会では、市提出議案22件、議員提出議案4件、陳情3件を審議しました。

各常任委員会では、委員会付託を省略した議案を除き、各議案、陳情を審査しました。

## 委員会における 主な議案の審査

### 予算決算委員会（12月11日）

委員長 木村 明美

議案第90号  
令和7年度茅野市一般会計補正予算（第5号）について  
**可決** 全会一致

歳入歳出それぞれ5億3,496万4千円を追加し、歳入歳出それぞれ315億2,754万5千円とするもの。

議案第91号

令和7年度茅野市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について

**可決** 全会一致

歳入歳出それぞれ300万2千円を追加し、歳入歳出それぞれ50億2,257万2千円とするもの。

議案第92号

令和7年度茅野市水道事業会計補正予算（第1号）について

**可決** 全会一致

債務負担行為の補正で、3事業を追加するもの。

議案第93号

令和7年度茅野市一般会計補正予算（第6号）について

**可決** 全会一致

歳入歳出それぞれ3,126万7千円を追加し、歳入歳出それぞれ315億5,881万2千円とするもの。

### 総務環境委員会（12月12日）

委員長 梯 泰弘

議案第72号  
辺地に係る総合整備計画について

**可決修正** 全会一致

辺地法の規定による総合整備計画の策定に当たり、議会の議決を求めるとの、今回は白樺湖辺地の総合整備計画。

**問** 辺地に関する事業は、これで完結ということでしょうか。

**答** 今回提出した事業は、現時点でのものであり、今後、追加または変更する場合には改めて議会に諮る。

**問** 計画書の白樺湖南側駐車場とはどこか。

**答** 白樺湖すずらん湯と神社との間にある駐車場。

### 修正案

審査の中で計画書の一部に誤字があることが判明したことから、委員から修正案が提出された。

議案第73号

令和7年度旧永明小学校解体工事（債務負担）の請負契約について

**可決** 全会一致

永明小中学校の建替えに伴う旧校舎解体工事の請負契約を締結するため、議会の議決を求めるとの。

**問** 仕様書にある発生土の搬出先はどこか。

**答** 処理する会社は株式会社昌栄、搬出先は原村地籍。

議案第74号

令和6年度永明小中学校アリーナ建設建築主体工事の変更請負契約について

**可決** 全会一致

永明小中学校アリーナ建設建築主体工事の請負契約について、請負金額を変更するため、議会の議決を求めるとの。

**問** 学校職員との協議により新たなフェンスが必要となったとのことだが、なぜこの時期になったのか。

**答** 当初から協議してきたが、駐車場の位置が変更になったため、段階的に話を進める中でこの時期となった。

議案第87号

茅野市組織条例等の一部を改正する条例について

**可決** 全会一致

令和8年度4月の組織改正に伴い、関係条例の一部改正を行うもの。

**問** 組織に関する業務が総務部から企画部に移るが、以前に総務部から企画部へ移している。本来的にどちらが正しいのか。

**答** 正解はない。今回は第6次総合計画ができ、事務事業評価が再開されたこともあり、計画の推進と共に、評価結果を組織体制に反映するために企画部が担うことが最適と考えた。また、企画部にはDX推進課があり、デジタルを活用した業務改善も一体的に進めて行きたい。

**問** 事務事業評価と行財政改革は連動すると思うが、総務部に行財政改革を残す理由と今後の体制はどう考えるか。

**答** 行財政改革は、まず財政面から取り組むために総務部に移した。新たな事務事業評価の結果が出てきた段階で行政面からの見直しに入るので、今後の体制についてはその時に検討する。

**問** 宮川地区コミュニティセンターの機能を中央公民館に移すが、建物や備品はどうなるのか。

**答** 建物は残し、貸館は継続する。コピー機が不要となるので契約解除する。什器は移す物と、そのまま残して活用する物とがある。処分する物はない。



宮川地区コミュニティセンター

経済建設委員会 (12月15日)

委員長 小尾 一郎

議案第75号

市道路線の認定について  
(ちの上原地籍)

議案第76号

市道路線の認定について  
(ちの塚原地籍)

議案第77号

市道路線の認定について  
(湖東中村地籍)

全会一致で可決

道路法第8条第2項の規定により、宅地開発に伴う市道路線の認定について議会の議決を求めるもの。

問(第75号)

基準を満たしているとのことだが、クランクが多く狭い印象を受けた。除雪時の雪のやり場も無い感じがした。何か考慮する必要があるには無いのか。

答(第75号)

生活道路なのでそういった基準は特にない。幹線でもないので、除雪は居住者で対応していただく一般的な対応となる。

問(第75号)

道が狭いという印象を感じた。開発する前に市に情報があれば、市として、もう少し直線的な道を、という指導はできるものなのか。

答(第75号)

指導はできると思うが、開発業者は区画割等も勘案する中で配置をしている。極端な場合であれば意見をしたいが、状況を見ながら検討することになる。

議案第78号

市道路線の廃止について  
(ちの塚原地籍)

議案第79号

市道路線の廃止について  
(湖東上菅沢地籍)

議案第80号

市道路線の廃止について  
(米沢北大塩地籍)

全会一致で可決

道路法第10条第3項の規定により、市道路線を廃止することについて議会の議決を求めるもの。

問(第79号)

今回は付替えによる廃止の場合是对価で精算し払い下げるが、付替えの場合の清算方法はどうか。

答(第79号)

付替えは基本的には同等面積以上を市に提供していただく。市へ提供する土地の方が小さい場合があれば差の面積分を対価で清算し払い下げることになる。

議案第83号

茅野市茅野駅前賑わい交流拠点施設条例について

全会一致で可決

茅野市の玄関口である茅野駅周辺エリアにおいて、人の交流やまちの賑わいの促進を図る拠点となる茅野市茅野駅前賑わい交流拠点を設置するもの。



茅野駅前賑わい交流拠点施設イメージ

オフィスの区割の一部が斜めになっている理由は何か。

入口が広く奥に狭まっていく形が人を呼び込む動線として入りやすいのでそういう意図である。

利用料減免の規定にある特別の事由とは何か。

現時点で具体的な想定はない。

指定管理に関する費用負担については条例で規定しないのか。

指定管理者の決定後に指定管理者との協定や契約の中で規定する。

運営が赤字の場合に50%を上限に補填するとあったが、金額の上限が設定されていない。その辺は契約に進む前に何か規定化することが必要ではないか。条例を提案するに当たり、専門家のアドバイスを受けているのか。

会計事務所には相談しており、特に問題ないと考えているが、上限については契約の段階で精査したい。

利用料は2階のワーククラブと類似した設定なのか。また、フード

ホールとリビングエリアでは位置条件による金額の差があるのか。

利用料は、ワーククラブと比べ、オフィスは高い設定、会議室とロッカーは同程度に設定している。ワーククラブは、働く実験室のコンセプトの元、あらゆるミッションを持っているので、2階から1階に移転をしてもらって新陳代謝が図れるような形になればいいと思っている。また、料金は位置による設定ではなく、エリア・ゾーンごとの目的により設定している。

エスカレーター横の扉は、普段はそのまま出入りできるのか。

エスカレーターが稼働している時は自由に歩き回れるエリアになる。

赤字の場合の補填に関して、光熱水費も赤字額の算定に含まれるのか。また、赤字額は600万が最大ということか。

光熱水費は、指定管理者の運営費用の中に含まれるので、そこで赤字黒字を判断する。また、事業者の決算上の純利益に基づく形になる。

2階の新陳代謝が進むという話だったが、1階の方が利用料が高いとなると、2階の人たちがあえて料金の高い方へ移動してくれるのかどうか。移動してくれなければ新陳代謝も進まないが、1階を高く設定している理由は何か。本当に1階に移動してくれるのか心配だ。

2階は新たに起業するような会社に入居してもらい、1階は駅前交流のための事業を展開するために入居してもらうことで、住み分けして設定している。また、1階のコンセプトは

交流であり、市内外の企業が集まる見込みなので、1階に移動したことに  
よって企業間の交流ができる。販売促進や企業の発展を図るために、家賃の高い方へ行って活動したい企業があれば移るのではないか。

**問** 1・2階の連携や相乗効果で空きスペースがうまく活用されるといいが、その部分于心配である。

**答** 1・2階の企業間の交流、連携は必要だが、2階の入居企業は1階の整備に関する詳細をまだ知らないの  
で今後説明をして行く。

**問** 休館日と利用時間だが、年末年始以外はすべて開館し、時間も毎日10時から8時半までということか。

**答** 休館日は基本的にはそのようになるが、使い方によって変更できる規定にしている。時間についても周囲と物理的に仕切られるようになってい  
るので同様である。

**問** 共創ラウンジはどのような管理方法を考えているのか。また、オフィス料金の周辺相場は検討したか。

**答** 共創ラウンジの管理方法は、まだ詳細を詰め切れていない。家賃については他市町村の家賃も同じような単価である。なお、オフィスの入居者は共創ラウンジの会員権を付与されることを想定している。

陳情12  
消費税減税とインボイス制度が廃止されるまで「2割特例」と「8割控除」の継続を求める陳情 賛成少数  
不採択

消費税減税とインボイス制度が廃止

されるまで「2割特例」と「8割控除」の継続を求める意見書を政府関係機関に提出することを求める陳情  
委員会での意見

○インボイス制度は、今までの免税対象者も消費税を納めなければなら  
ない、庶民にとっても厳しい制度だ  
と思う。払い切れなくなり事業を  
廃止する1人親方や請負の方も出  
てくる。10割になったら払い切れ  
なくなると、廃業せざるを得ない  
立場に追い込まれてしまうのでは  
ないかと非常に危惧するので採  
択。

○2割特例と8割控除の継続を求め  
ることは理解できる。ただし、本  
案は加えて消費税減税とインボイ  
ス制度廃止の意見が1つにまとめ  
られており、意見書として要望が  
大き過ぎると感じる。また、参議  
院選挙での結果、与党が過半数割  
れとなったのが消費税減税とイン  
ボイス制度廃止の民意だと書かれ  
ているが、今回の民意は103万  
円の壁の問題だと感じる。従って  
陳情全体として賛成できないので  
不採択。

○誰もが消費税を負担しつつ生活し  
ている。陳情趣旨等から中小企業  
だからという限定的な理由が見え  
てこない。中小企業に限定される  
事象が現にあり、それが回避され  
るまでということであれば納得で  
きるが、そうでないとすれば、原  
則に立ち返って、消費税は現状の  
ルールの中で支払うのが税の公平  
性だと思わないで不採択。

○2割特例と8割控除の継続を求める  
というのは大変よく分かるが、この  
陳情が本当に求めている中身はイン  
ボイス制度の見直しだと思う。趣旨  
と中身がずれているので不採択。  
○中小企業に寄り添った内容になっ  
ているが、意見書の文面が茅野市議会  
という組織が上げていくものとして  
は合わないと思うため不採択。

福祉教育委員会 (12月15日)

委員長 木村 かほり

議案第81号  
諏訪中央病院組合規約の  
一部変更について  
全会一致で可決

泉野診療所の閉所に係る関係規定を  
整理するためのもの。

議案第82号  
公の施設の指定管理者の  
指定の期間の変更につ  
いて  
全会一致で可決

令和2年12月茅野市議会定例会にお  
いて可決された議案「公の施設の指定  
管理者の指定について」の指定管理者  
の指定の期間を変更するもの。

議案第84号  
茅野市乳児等通園支援事  
業の設備及び運営に関す  
る基準を定める条例につ  
いて  
全会一致で可決

子ども・子育て支援法の規定により、  
乳児等通園支援事業の設備及び運営に

関する基準を定  
めるためのもの。  
**問** 本制度の実  
施に伴う、  
施設整備や改修  
に係る財政的負  
担はどの程度見  
込まれるのか。  
また、国の財政  
支援はあるのか。

**答** 今回は泉野  
保育園の空  
き部屋を活用するため、改修費用は発生  
しない。改修が必要な場合は国・県の補  
助制度がある。

**問** 利用見込みは何人か。また、実施場  
所が泉野保育園となった理由は何か。

**答** 対象となる3歳未満児は、年齢ごと  
に約百名おり、その内の月16名程度  
の利用を見込んでいます。実施場所につ  
いては、市街地では空き部屋の確保が難  
しく、空き部屋があり自然環境に恵まれ  
た泉野保育園を選定した。

**問** 利用形態が短時間で細切れだが、子  
どもへの影響や制度の実効性をどの  
ように考えているか。

**答** 本制度は月10時間を上限とし、1時  
間単位で柔軟に利用できる仕組み。  
一時保育や既存の子育て支援事業と併せ、  
子どもの社会性を育む機会の一つとして  
位置付けている。

**問** 保育士配置の体制や基準はどのよう  
になっているか。

**答** 当初は短時間勤務のパート保育士を  
配置し、配置基準は0歳児に準じ、  
保育士1人につき、子ども3人までの受  
入れを予定している。



泉野保育園

議案第85号  
茅野市保育所条例の一部を改正する条例について

全会一致で可決

乳児等通園支援事業の実施に当たり、関係規定を整備するためのもの。

議案第86号

茅野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例について

全会一致で可決

児童福祉法等の関係法令の改正に伴い、関係規定を整備するためのもの。

議案第89号

茅野市ふれあい保健福祉事業条例の一部を改正する条例について

全会一致で可決

機能訓練事業の廃止及び字句の整理を行うためのもの。

陳情11

診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める陳情書

賛成多数で採択

2026年度の診療報酬改定と合わせ、1年前倒しで介護・障害福祉サービス等報酬改定を実施することとすべの医療機関と介護・福祉事業所の物価高騰対策も含めて、各10%以上の引き上げ改定を実施すること。また、当

面の支援策として、2025年度中に全額公費による賃上げ支援策の実行を求めることを意見書として政府関係機関に提出することを求める陳情。

委員会での意見

○診療報酬は、国で検討が進んでおり、すべてを一律に10%以上引き上げる要求は過大だ。分野ごとに丁寧な検証が必要であるため不採択。

○医療・介護・障害福祉の現場は深刻な人手不足や経営難に直面しており、現場の切実な声を国に届ける必要がある。また、これらの分野のサービス報酬は相互に関連しており、切り離して考えることはできない。制度改善を求める姿勢を国に示すことは妥当なので採択。

陳情16

小中学校の給食費の無償と現行学校給食の質及び仕組みの維持と向上を求める陳情書

賛成少数で不採択

小中学校の給食費を全額国費で無償にすることと学校給食の質を低下させるような制度にしないことを意見書として政府関係機関に提出することを求める陳情。

委員会での意見

○無償化は地方負担を前提としているが、国に要望を上げ、財源の考慮を求めることは妥当なので採択。

○無償化と共に、長年培った茅野市の自校給食の質と安全を守るための陳情であり、長年の市民運動により国で無償化が検討されるようになったものであるため採択。

○現段階で国の無償化の制度内容が不明確であり、全額無償化を前提に意見書を出すのは適切でないので不採択。

○茅野市は、自校給食・完全給食を実施しており、無償化だけでは現在の給食の質を維持できず、費用負担の調整が必要となるため、無償化を前面に出すことは誤解や混乱を招く可能性があるので不採択。

議案第20号

医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置を全て廃止し、福祉医療給付制度を国の制度として確立することを求める意見書

賛成少数で採択

自治体を実施している福祉医療給付制度を国の制度として確立すること及び子ども医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置の廃止同様、障がい者等その他の医療費助成に係る減額調整措置を全て廃止することを求める意見書案。

反対討論

福祉医療給付制度は市町村ごとに細かく定められており、国の制度として一律に実施するのは制度面、財源面で困難であるので反対。

賛成討論

国保の子ども医療費や障害者医療には、国の制度上の制約があり、十分な福祉医療ではない。福祉医療の充実を図る必要があるので賛成。

議案第21号  
令和8年度診療報酬改定で大幅引き上げを求める意見書

賛成多数で可決

令和8年度診療報酬改定で大幅引き上げを求める意見書案。

反対討論

市民は医療を受ける立場であり、診療費や保険料の負担増を抑える具体策が示されていない現段階では反対。

賛成討論

多くの病院が赤字経営となっており、その要因に国の診療報酬制度がある。病院の努力だけでは限界があり、地域医療を守るためにも国に制度改善を求める必要があるため賛成。

### 令和7年第3回臨時会

茅野市議会第3回臨時会を令和7年10月22日（水）に開催しました。第3回臨時会では、市側から提出された議案1件の審議を行いました。

議案第71号

令和7年度茅野市一般会計補正予算（第4号）について

歳入歳出それぞれ4,000万円を追加し、歳入歳出それぞれ309億9,258万1千円とするもの。

↓予算決算委員会に付託し、全会一致で可決しました。

# 茅野市の課題を問う!

## 令和7年12月定例会一般質問通告一覧 ①

一般質問における実際のやりとり、市側の答弁については、記載のQRコードから動画でご覧いただけます。

質問者	件名	小項目・動画QRコード	
 佐々木 美智子	1 高齢化社会における「移動の権利」確保と地域連携の在り方		(1) 現行のオンデマンド交通のシステムの評価と課題認識について (2) 他自治体事例との比較・新システム導入の可能性について (3) 移動支援を「福祉政策」として捉える視点について (4) 地域・民間との連携による新しい仕組みづくりについて
	2 学校の未来等とまちの将来像を見据えたまちづくりの再設計および全庁的な業務の最適化に向けた考え方		(1) 学校再編をまちづくり全体の課題として捉える視点について (2) 庁内横断的な体制の構築について (3) 職員の業務負担と組織としての支援体制について
 望月 克治	3 宮川小学校のトイレについて		(1) トイレの臭いの問題の解決策は検討していますか (1) 農業関係者からの意見は届いていますか (2) 来年度はコースが変わり、農業地域を通るコースとなるようですが、地域から何らかの意見は出ていますか (3) 原村も農業地域を通るコースとなりますが、意見交換はしていますか (1) 「心不全患者の再入院予防のための遠隔看護の普及に向けた調査」は問題なく進んでいますか (2) 「大型ドローンでの山岳エリアの物資輸送サービス構築に向けた調査」の結果はでましたか
	4 スワコエイトピークスミドルトリアスロン 2025 大会について		
	5 デジタル田園健康特区の現状について		
 両角 直樹	6 人口減少が続く状況の中、生産年齢人口（15歳から64歳）の減少を食い止めるための施策について		(1) 交流人口・関係人口創出のための施策について (2) Uターン・Jターン促進などの移住・定住施策について (3) 働く場所を創出するための企業誘致について (4) 公立諏訪東京理科大学の学生の市内企業への就職について (5) 今後、増加が見込まれる外国人労働者への対応について
 竹内 巧	7 誰にとっても心地よい、活気ある茅野駅周辺を目指して		
 木村 明美	8 地区子ども館と図書館分室の今後のあり方について		(1) 地区子ども館の開館時間の変更案が出された経緯について (2) 地区子ども館のあり方検討について (3) 図書館分室のあり方について (4) 地区子ども館職員の働き方について
 机 博文	9 有害鳥獣被害対策の現状と対応について		
 梯 泰弘	10 人の移動が活発な社会における個人住民税や国民健康保険税の前年所得課税の仕組みと、税収を軸とした歳入確保の取組について		(1) 前年所得課税のもとでの収納状況と課題について (2) 現行制度のもとで税収確保のために市が講じている対応策について (3) 制度改善が必要と考えられる論点について (4) 税収を軸とした歳入確保と市の取組について

# 令和7年12月定例会一般質問通告一覧 ②

質問者	件名	小項目・動画 QR コード		
 伊藤 勝	11 介護保険サービスの利用について		(1) 介護保険サービスを利用するまでの基本的な仕組みに対し、この地域では提供する事業所は足りているのか (2) 保健福祉サービスセンターは、担当地域の福祉サービス利用者への相談やその支援をどのようにしているのか (3) 要介護者が、希望する介護保険サービスを利用できるような方法や取組が考えられないか	
	12 茅野市国際スケートセンター (NAO ice OVAL) の存廃について		(1) 行財政審議会の答申を受けて、存廃の結論をなぜ先延ばしするのか (2) NAO ice OVAL の冠名をどうしているか	
 樋口 敏之	13 パートナーシップのまちづくりの現状と今後について		(1) 見直しの進捗状況について (2) これからのパートナーシップのまちづくりのあり方について	
 洪澤 務	14 クマの出没に対する安全管理について		(1) 長野県及び茅野市におけるクマの出没状況について (2) 茅野市としてのクマ出没に関する危機管理体制について (3) クマの出没時における避難判断と避難の範囲について (4) 対応体制関係者 (行政職員・消防署員・消防団員・協力者) の安全確保と補償について (5) 今後の総合的なクマ対策について	
 東城 源	15 茅野市の付加価値を上げる戦略について		(1) 茅野市の財政状況について (2) 歳入増加の取組について (3) ふるさと納税の増収強化について (4) 茅野市の名産品の創出について	
 小尾 一郎	16 市にはお金がないということについて		(1) 市の財政と家庭の会計に違いはあるのか。 (2) 市にお金がないとはどのような状況を言うのか。また、お金がないとどのような事態が到来するのか。 (3) お金がないことと財政が不健全であることは同じなのか。 (4) 基金がなくなることに市は危機感を持っているようだが、基金の役割とは何か、市の行政経営に必須のものなのか。 (5) お金がない状況を打破するために市はどのような方策を講じているのか、また、講じようとしているのか。 (6) 現状の財政状況の中で、また、これから先、市民に心けて欲しいこと、市民や議員にしてほしいことは何か。	
 木村 かほり	17 いじめ問題への対応について		(1) 学校、教育委員会、育ちあいちの等によるいじめ問題への対応、防止対策について (2) 学校の教職員の理解を深める取組について (3) いじめに関わる子どもや保護者へのサポート体制について	
	18 茅野市フリースクール利用料補助事業について	(1) フリースクール利用料の補助事業の内容について (2) 保護者の反応と利用状況について		
 向山 平和	19 子どもが元気で、健康に成長できることについて		(1) 不登校の児童生徒数の現状は (2) 不登校の増加傾向が止まらないことについて (3) 病気、経済的理由で登校できない児童生徒数の現状は (4) 不安、抑うつなどを抱えている児童生徒への対応は (5) スマホやゲームの成長に対する弊害について (6) スマホやゲームの利用に関しての啓発活動はどうなっていますか	
	20 保育園・認定こども園・小中学校給食食材費の高騰に対する市の対応について		(1) 食材調達に対して課題はないか (2) 給食献立の作成にあたって、現場からの声はないか (3) 食材費高騰に対する市の対応について (4) 給食費の補助金を増やす考えは	
 野沢 明夫	21 茅野市におけるカスハラ対策について		(1) 市役所でのカスハラはあるか (2) 実態調査、職員へのアンケートなどの予定はあるか (3) 条例化について	
	22 茅野市におけるA I活用について	(1) 行政事務におけるのA I活用はあるか (2) 市民対応についてA I活用はあるか (3) 今後の活用策をどう考えるか		
	23 部活動地域移行の進捗状況及び今後の対応策とスケジュールについて	(1) 地域クラブ設置の現状及び課題 (2) 保護者の声は (3) 国、県からの財政措置の予定はあるか		

## 令和7年12月定例会 市提出議案 議決結果

番号	件名	付託先委員会等	議決結果
議案第72号	辺地に係る総合整備計画について	総務環境委員会	修正可決
議案第73号	令和7年度旧永明小学校解体工事（債務負担）の請負契約について	総務環境委員会	可決
議案第74号	令和6年度永明小中学校アリーナ建設建築主体工事の変更請負契約について	総務環境委員会	可決
議案第75号	市道路線の認定について（ちの上原地籍）	経済建設委員会	可決
議案第76号	市道路線の認定について（ちの塚原地籍）	経済建設委員会	可決
議案第77号	市道路線の認定について（湖東中村地籍）	経済建設委員会	可決
議案第78号	市道路線の廃止について（ちの塚原地籍）	経済建設委員会	可決
議案第79号	市道路線の廃止について（湖東上菅沢地籍）	経済建設委員会	可決
議案第80号	市道路線の廃止について（米沢北大塩地籍）	経済建設委員会	可決
議案第81号	諏訪中央病院組合規約の一部変更について	福祉教育委員会	可決
議案第82号	公の施設の指定管理者の指定の期間の変更について	福祉教育委員会	可決
議案第83号	茅野市茅野駅前賑わい交流拠点施設条例について	経済建設委員会	可決
議案第84号	茅野市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例について	福祉教育委員会	可決
議案第85号	茅野市保育所条例の一部を改正する条例について	福祉教育委員会	可決
議案第86号	茅野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例について	福祉教育委員会	可決
議案第87号	茅野市組織条例等の一部を改正する条例について	総務環境委員会	可決
議案第88号	茅野市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	総務環境委員会	可決
議案第89号	茅野市ふれあい保健福祉事業条例の一部を改正する条例について	福祉教育委員会	可決
議案第90号	令和7年度茅野市一般会計補正予算（第5号）について	予算決算委員会	可決
議案第91号	令和7年度茅野市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	予算決算委員会	可決
議案第92号	令和7年度茅野市水道事業会計補正予算（第1号）について	予算決算委員会	可決
議案第93号	令和7年度茅野市一般会計補正予算（第6号）について	予算決算委員会	可決

## 令和7年12月定例会 陳情・議員提出議案 採決結果

番号	表題	提出者	付託先委員会等	議決結果
陳情11	診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める陳情書	長野県医療労働組合連合会、 長野県社会保障推進協議会	福祉教育委員会	採択
陳情12	消費税減税とインボイス制度が廃止されるまで「2割特例」と「8割控除」の継続を求める陳情	諏訪地方民主商工会	経済建設委員会	不採択
陳情13	茅野市内の小・中学校における「いじめ」をなくす取り組みに関する陳情	一般社団法人共存共栄クラブ	議場配布	—
陳情14	「外国人による日本の土地購入を規制する法律」の制定を求める意見書提出に関する陳情	一般社団法人共存共栄クラブ	議場配布	—
陳情15	「全ての公務員の任用に国籍条項を定める法律」の制定を求める意見書提出に関する陳情	一般社団法人共存共栄クラブ	議場配布	—
陳情16	小中学校の給食費の無償と現行学校給食の質及び仕組みの維持と向上を求める陳情書	茅野市学校給食を考える会	福祉教育委員会	不採択
議員提出議案第20号	医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置を全て廃止し、福祉医療給付制度を国の制度として確立することを求める意見書	望月克治議員、伊藤勝議員、 向山平和議員	福祉教育委員会	否決
議員提出議案第21号	令和8年度診療報酬改定で大幅引き上げを求める意見書	望月克治議員、伊藤勝議員、 向山平和議員	福祉教育委員会	可決
議員提出議案第22号	診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める意見書	木村かほり議員、両角直樹議員、 野沢明夫議員、伊藤勝議員	付託省略	可決
議員提出議案第23号	小尾一郎議員に対する問責を行う決議	野沢明夫議員、伊藤勝議員、 木村かほり議員	付託省略	可決

# 令和7年12月定例会 賛否が分かれた議決結果

賛成…○ 反対…● ※議長は採決には加わりません。

番号	件名	議決結果	両角直樹	梯泰弘	向山平和	佐々木美智子	渋澤務	木村明美	竹内巧	木村かほり	長田近夫	東城源	机博文	小尾一郎	樋口敏之	野沢明夫	伊藤勝	望月克治	両角実晃	
陳情	11 診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める陳情書	賛成多数により採択	○	●	○	○	●	○	○	○	●	●	●	●	●	○	○	○	○	●
	12 消費税減税とインボイス制度が廃止されるまで「2割特例」と「8割控除」の継続を求める陳情	賛成少数により不採択	●	●	○	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	○	○	○	○	●
	16 小中学校の給食費の無償と現行学校給食の質及び仕組みの維持と向上を求める陳情書	賛成少数により不採択	●	●	○	○	●	●	●	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	●
議員提出議案	20 医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置を全て廃止し、福祉医療給付制度を国の制度として確立することを求める意見書	賛成少数により否決	●	●	○	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	○	○	○	○	●
	21 令和8年度診療報酬改定で大幅引き上げを求める意見書	賛成多数により可決	○	●	○	○	●	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○
	22 診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める意見書	賛成多数により可決	○	●	○	○	●	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○
	23 小尾一郎議員に対する問責を行う決議	賛成多数により可決	賛成8、反対7、除斥（小尾一郎議員）、退席（両角直樹議員） （無記名投票による採決）																	

上記以外の議案は、全会一致により可決されました。

ちの市議会だより 第56号  
発行日：令和8年3月1日発行 発行：茅野市議会 編集：議会広報部会 印刷：株式会社中央企画  
〒391-8501 長野県茅野市塚原二丁目6番1号 ☎0266-72-2101 FAX 0266-73-7936 https://www.city.chino.lg.jp/site/chino-cc/

検索！  
Check!

## 議場で行われる本会議は ライブ中継と録画映像でご視聴いただけます。

議場で行われる本会議は、下記の予定に合わせてビーナチャンネル（12Ch 茅野市コミュニティ放送）とインターネットでライブ中継を行います。テレビで、ネットで、ぜひご覧ください。



録画映像  
QRコード

なお、本会議や一般質問等の録画映像は、後日議会ホームページで配信します。  
詳しくは議会ホームページをご確認ください。  
また、同ホームページ内の『会議録検索システム』により、会議録の閲覧も  
できますので、併せてご利用ください。



会議録  
QRコード

茅野市議会

🔍

検索

## みなさんぜひ傍聴に お越しく下さい！

市議会の本会議及び各常任委員会とはなたでも傍聴できます。予約の必要はありません。  
本会議の傍聴を希望される方は、直接議会棟3階までお越しく下さい。事務局への連絡は不要です。  
なお、委員会の傍聴をご希望の方は、事前に議会事務局までご連絡をお願いします。



### 3月定例会本会議予定

2月24日（火） 開会、提案説明  
3月5日（木）～ 一般質問  
3月19日（木） 委員長報告、採決、閉会

※変更となる場合があります。  
日程は、確定後に議会ホームページに掲載します。

ちの市議会だより第57号は、6月1日発行予定です。

